

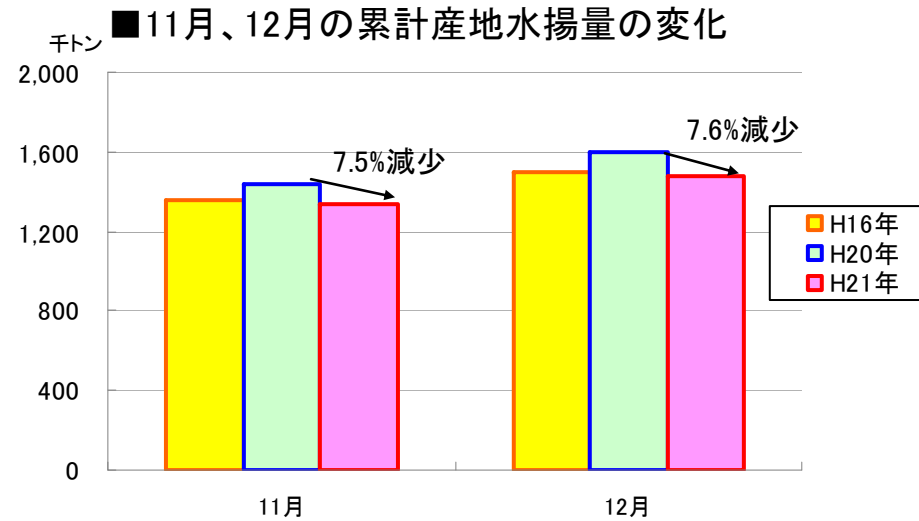
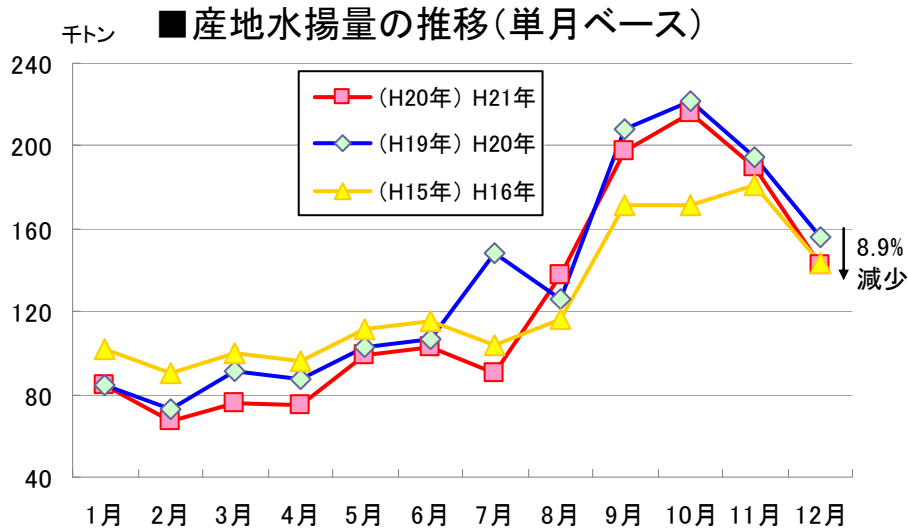
水産物の産地水揚量・卸売価格、輸出入
及び家計消費の月別動向について(月報)
(平成21年12月)

平成22年3月
水産庁漁政部企画課

1 産地水揚量の動向

○平成21年12月の水産物産地水揚量は142千トで、前年同月と比べ8.9%減少した。さば類は、北部太平洋での漁獲が好調で、石巻で水揚量が前年を上回ったことから17.7%増加した。また、生鮮びんながは、和歌山の勝浦でまとまりをみせたことから、前年同月と比べ74.5%増加した。一方、さんまは、銚子では前年同月を上回ったものの、宮古、女川で前年同月を大きく下回ったことから全体では32.6%減少した。ほっけは41.3%の減少。生鮮するめいかは22.6%の減少となった。

○平成21年の水産物の累計産地水揚量は12月までで1,477千トで、前年同期と比べ7.6%減少した。これは、累月ベースで、生鮮するめいか(40.0%増)、まいわし(131.0%増)、生鮮びんなが(29.0%増)等で水揚量が増加した以上に、さば類(12.0%減)、さんま(12.0%減)、ほっけ(29.0%減)等で水揚量が減少したためである。



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21.10	H21.11	H21.12	H21累計
水揚量	数量(千トン)	1,603	84	67	76	75	99	103	90	137	197	216	190	142	1,477
	前年同月比	-1.1%	0.0%	-7.2%	-16.7%	-14.3%	-3.5%	-3.5%	-39.0%	8.7%	-5.0%	-2.5%	-2.4%	-8.9%	-7.6%
	H16年同月比	※-1.7%	-17.1%	-25.5%	-23.8%	-21.6%	-11.1%	-10.7%	-13.4%	18.3%	15.3%	26.0%	4.4%	-1.1%	-1.7%

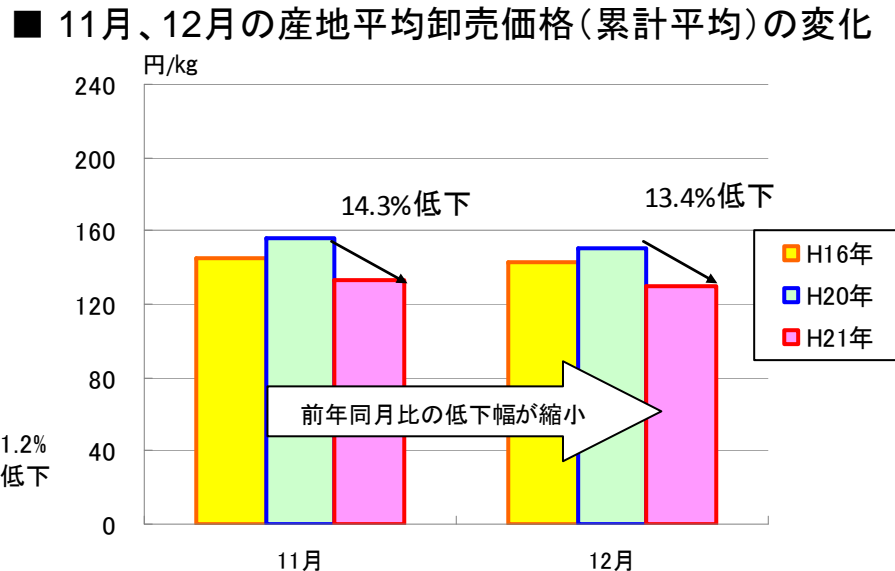
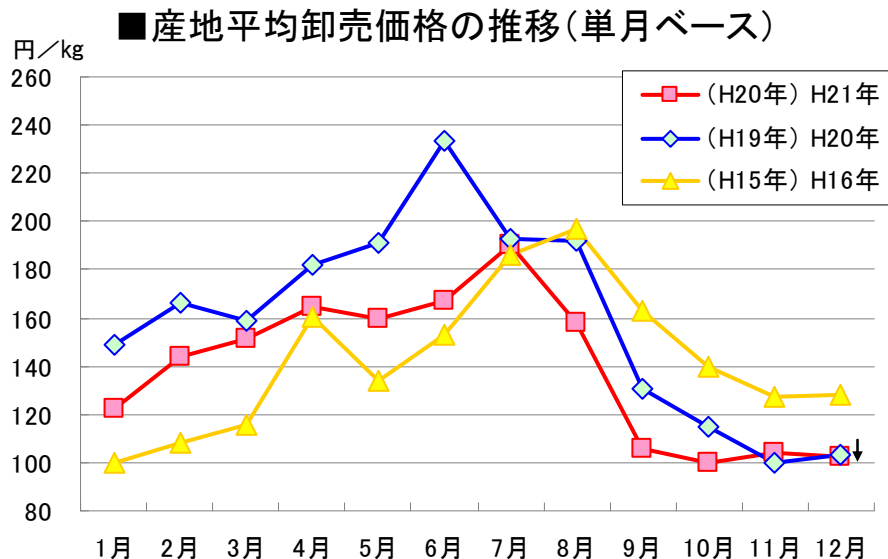
出典:農林水産省「産地水産物流通統計」

- 注: 1) 本統計は、全国2177漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。
 2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5639千トン)に対する割合(カバー率)は約30%である。
 3) 2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。
 4) 表中の※については、平成15年合計値との比較である。

2 産地平均卸売価格の動向

○平成21年12月の産地平均卸売価格は102円/kgで、前年同月と比べ1.2%低下した。これは、前年同月と比べ、冷凍近海するめいか、生鮮めばち等で水揚金額が増加したものの、冷凍かつお、冷凍まぐろ、まあじ等で水揚金額が減少したためである。

○平成21年の産地平均卸売価格(累計平均)は12月までで130円/kgで、前年同期と比べ13.4%低下し、前年同期比14.3%低下であった先月と比べ低下幅は縮小した。累月ベースでは、生鮮するめいか、まいわし、生鮮びんなが等で水揚金額が増加したが、冷凍かつお、さば類、生鮮かつお等で水揚金額が減少した。



		H20平均	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21.10	H21.11	H21.12	H21平均
平均産地卸売価格	価格(円/kg)	150	123	144	151	165	160	167	191	158	106	100	104	102	130
	前年同月比	4.9%	-17.4%	-13.3%	-4.8%	-9.4%	-16.3%	-28.4%	-1.1%	-17.4%	-19.1%	-13.2%	3.5%	-1.2%	-13.4%
	H16年同月比	※0.0%	22.8%	33.7%	30.7%	2.7%	19.7%	9.3%	2.7%	-19.7%	-34.9%	-28.5%	-18.4%	-20.1%	-8.9%

出典:農林水産省「産地水産物流通統計」

注: 1) 本統計は、全国2177漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。

2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5639千トン)に対する割合(カバー率)は約30%である。

3) 2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。

4) 表中の※については、平成15年合計値との比較である。

(参考)魚種別の累積水揚量・卸売価格

品目	累積の上場水揚量 (t)			累積の平均卸売価格 (1kg当たり円)		
	平成21年 1月～12月	20年 1月～12月	対前年 同期比	平成21年 1月～12月	20年 1月～12月	対前年 同期比
			%			%
まぐろ (生鮮) 1	2 212	2 715	81	1 533	1 649	93
〃 (冷凍) 2	678	1 011	67	1 686	2 822	60
びんなが (生鮮) 3	39 995	30 932	129	278	327	85
〃 (冷凍) 4	16 730	9 856	170	279	388	72
めばち (生鮮) 5	7 870	9 224	85	1 086	1 176	92
〃 (冷凍) 6	17 925	20 360	88	834	857	97
きはだ (生鮮) 7	7 577	10 168	75	674	659	102
〃 (冷凍) 8	8 057	9 038	89	552	585	94
かつお (生鮮) 9	43 319	76 045	57	353	303	117
〃 (冷凍) 10	200 871	208 028	97	140	201	70
まいわし 11	36 449	15 805	231	103	112	92
うるめいわし 12	21 965	21 548	102	53	61	87
かたくちいわし 13	87 304	95 339	92	31	51	61
まあじ 14	101 295	95 787	106	154	220	70
むろあじ 15	16 978	20 039	85	109	101	108
さば類 16	396 023	449 474	88	73	86	85
さんま 17	269 640	307 024	88	65	65	100
ほっけ 18	83 592	118 498	71	44	55	80
するめいか (生鮮) 19	73 034	52 229	140	149	162	92
〃 (冷凍、遠洋) 20	759	1 269	60	176	183	96
〃 (冷凍、近海) 21	43 002	43 611	99	220	214	103

資料:農林水産省「産地水産物流通統計」

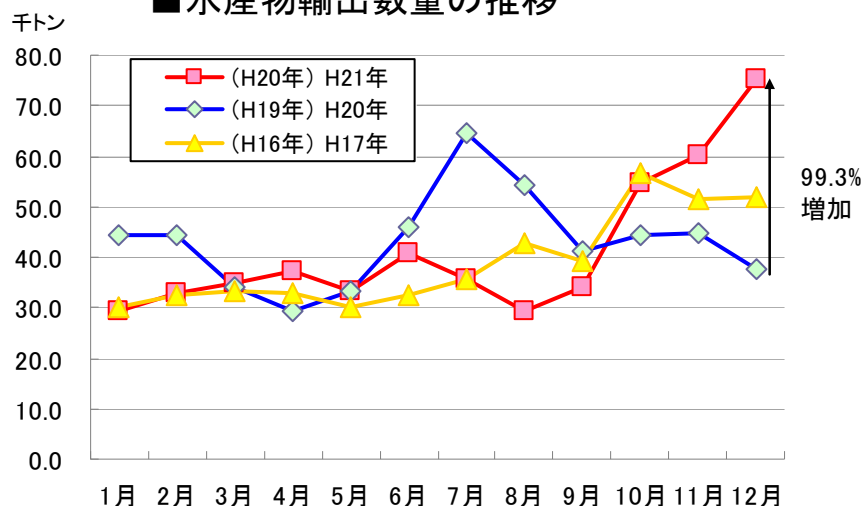
注:1)「まぐろ」とは、くろまぐろ及びみなみまぐろの合計である。

3-① 水産物輸出数量の動向

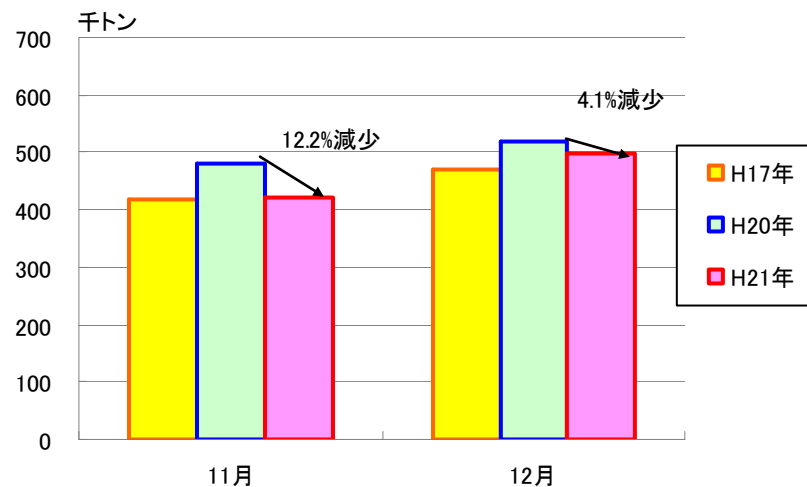
○平成21年12月の水産物輸出量は75.2千トで、前年同月と比べ99.3%増加した。すけとうだらは、韓国、中国向けが増加したことから対前年同月比386.9%増加した。さんまは、ロシア向けが増加したことから143.5%増加。また、さけ・ますでは、中国向けぎんざけの増加により107.5%の増加となった。一方、まぐろ類は44.1%減少した。

○平成21年の累計水産物輸出量は12月までで497.1千トで、前年同期と比べ4.1%減少となった。品目別にみると、漁獲が好調であったすけとうだら、さけ・ますでは、それぞれ92.3%、23.2%の増加。また、11月以降輸出が順調であった冷凍さんまでは、32.1%の増加となった。一方、円高や世界的な経済不況の影響や、漁獲量の減少により、さば(36.8%減)、かつお類(62.5%減)、いか(11.9%減)等では輸出量が減少した。

■水産物輸出数量の推移



■11月、12月の累計水産物輸出量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21.10	H21.11	H21.12	H21累計
輸出	数量(千トン)	518.4	29.2	33.0	34.8	37.2	33.1	41.0	35.5	29.3	34.0	54.6	60.3	75.2	497.1
	前年同月比	-15.3%	-34.3%	-25.5%	1.5%	27.7%	-0.7%	-10.7%	-45.0%	-45.9%	-17.9%	22.8%	34.9%	99.3%	-4.1%
	H17年同月比	※22.2%	-2.3%	1.9%	4.1%	13.3%	10.5%	25.4%	-0.5%	-31.3%	-13.0%	-3.8%	17.4%	44.6%	6.1%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

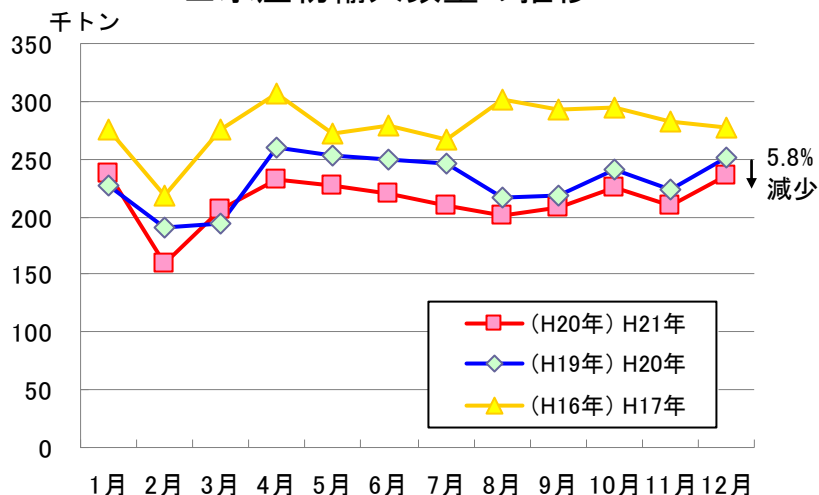
注: 1)表中の※については、平成16年合計値との比較である。
2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

3-② 水産物輸入数量の動向

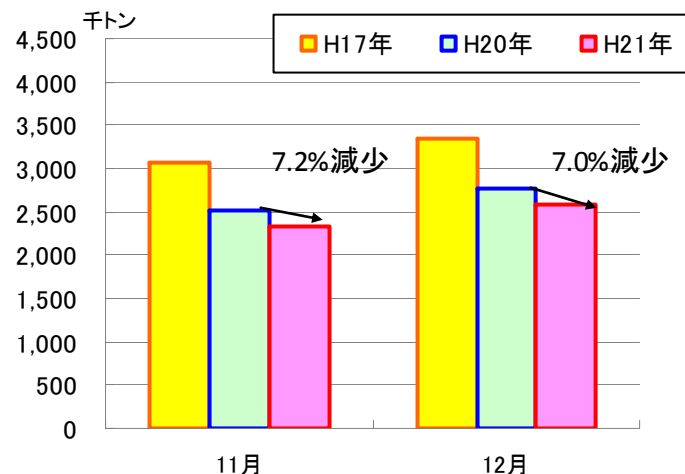
○平成21年12月の水産物輸入量は236千トンド、前年同月と比べ5.8%減少した。品目別では、まぐろ類(19.0%増)、たら(33.1%増)、さけ・ます(10.9%増)等で輸入量が増加した。さばは、ノルウェー産の大幅な減少により、輸入量が34.0%減少した。また、魚粉は51.5%の減少。かには、米国産たらばがにの減少により37.6%減少した。

○平成21年の累計水産物輸入量は12月までで2,573千トンド、前年同期と比べ7.0%減少した。品目別にみると、円高や国内需要の高まりを背景に、かつお類(58.7%増)、たこ(25.7%増)、あさり(14.7%増)等で輸入量が増加した。一方、たらでは、米国産すけとうだらの減産の影響により17.9%の減少。かには、ロシア産の大幅な減少により13.2%減少した。また、魚粉は8.5%減少、ひらめ・かれいは16.7%減少となった。

■ 水産物輸入数量の推移



■ 11月、12月の累計水産物輸入量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21.10	H21.11	H21.12	H21計
輸入	数量(千トン)	2,768	238	159	206	233	227	219	210	202	207	226	210	236	2,573
	前年同月比	-4.0%	5.2%	-16.4%	5.9%	-10.3%	-10.1%	-12.0%	-14.5%	-6.8%	-5.4%	-6.3%	-5.8%	-5.8%	-7.0%
	H17年同月比	※-20.6%	-13.3%	-27.1%	-25.5%	-24.3%	-16.5%	-21.4%	-21.2%	-33.0%	-29.3%	-23.5%	-25.6%	-14.6%	-23.0%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注: 1) 表中の※については、平成16年合計値との比較である。

2) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

(参考)品目別の累計輸出入数量

輸出量(千トン)				輸入量(千トン)			
品目	平成21年 1～12月	平成20年 1～12月	前年 同月比	品目	平成21年 1～12月	平成20年 1～12月	前年 同月比
さば(冷蔵・冷凍)	84.1	133.1	-36.8%	魚粉	278.5	304.4	-8.5%
さんま(冷凍)	75.4	57.1	32.1%	さけ・ます(生・蔵・凍)	240.3	247.8	-3.0%
すけとうだら(生・蔵・凍)	74.5	38.7	92.3%	まぐろ類(生・蔵・凍)	210.6	212.5	-0.9%
さけ・ます(生・蔵・凍)	55.6	45.1	23.2%	えび(活・生・蔵・凍)	202.6	202.3	0.2%
まぐろ類(生・蔵・凍)	30.9	24.3	27.1%	いか(活・生・蔵・凍もんごう含む)	78.0	87.5	-10.8%
いか(生・蔵・凍)	27.8	31.6	-11.9%	たら(生・蔵・凍・すり身)	75.5	92.0	-17.9%
かつお類(生・蔵・凍)	21.8	58.2	-62.5%	えび(調製)	64.7	64.3	0.6%
ほたて貝(生・蔵・凍・塩・乾)	12.5	11.6	7.6%	かに(活・生・蔵・凍)	63.9	73.6	-13.2%
ほや(活・生・蔵)	7.3	6.7	9.1%	たこ(活・生・蔵・凍)	56.2	44.7	25.7%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	6.9	8.0	-13.4%	かつお類(生・蔵・凍)	53.3	33.6	58.7%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

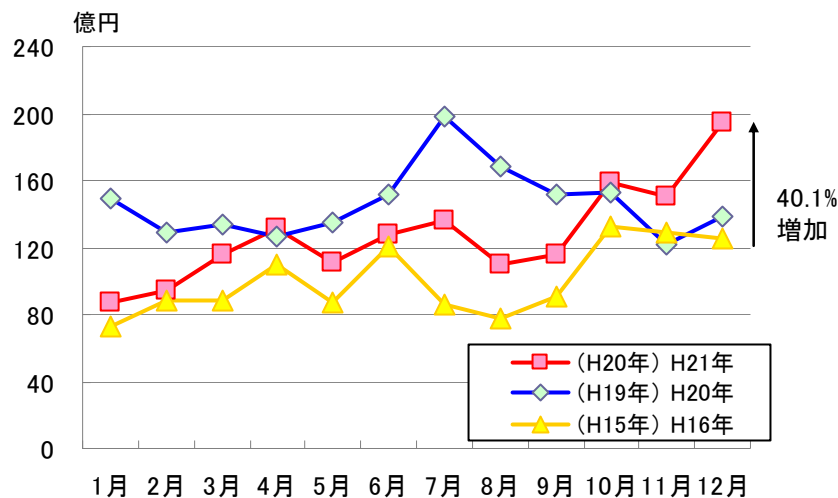
注:1)本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

4-① 水産物輸出金額(真珠を除く)の動向

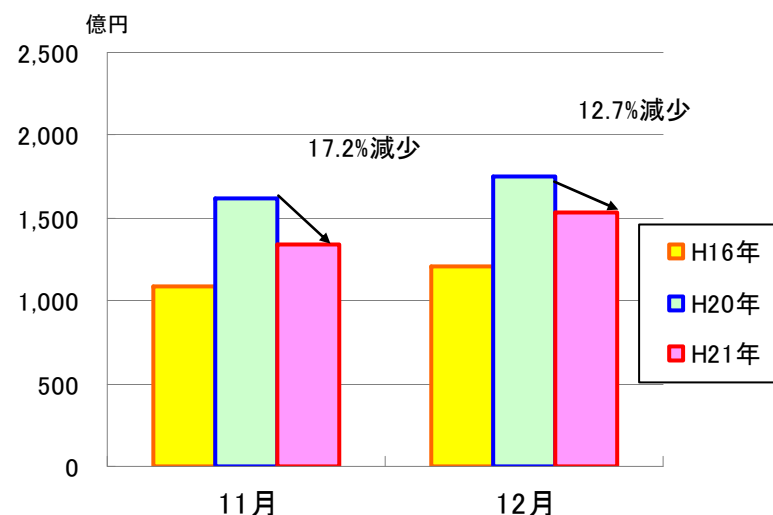
○平成21年12月の水産物輸出金額は194億円で、前年同月と比べ40.1%増加した。これは、まぐろ類(25.1%減)、冷凍かに(67.7%減)、魚油(73.6%減)等で輸出金額が減少した以上に、すけとうだら(188.6%増)、さんま(168.0%増)、さけ・ます(98.8%増)等で輸出金額が増加したためである。

○平成21年の水産物の累計輸出金額(真珠除く)は12月までで1,533億円で、前年同期と比べ12.7%減少した。品目別にみると、漁獲が好調であった、さけ・ます(27.5%増)、すけとうだら(32.7%増)等で輸出金額が増加した。一方、円高や世界的な経済不況、国内漁獲量の減少により、かつお類(78.3%減)、さば(49.5%減)、乾燥なまこ調製品(26.9%減)等で輸出金額が減少した。

■水産物輸出金額の推移(単月ベース)



■11月、12月の累計輸出金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21.10	H21.11	H21.12	H21累計
輸出	金額(億円)	1,757	87	94	116	131	111	128	136	110	116	159	150	194	1,533
	前年同月比	-13.9%	-41.5%	-26.7%	-12.7%	3.7%	-17.4%	-16.2%	-31.5%	-34.7%	-23.4%	3.4%	23.6%	40.1%	-12.7%
	H16年同月比	※58.1%	20.2%	7.0%	31.2%	19.8%	27.0%	5.7%	58.9%	43.1%	27.6%	20.0%	16.2%	55.6%	27.0%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注:1)表中の※については、平成15年合計値との比較である。

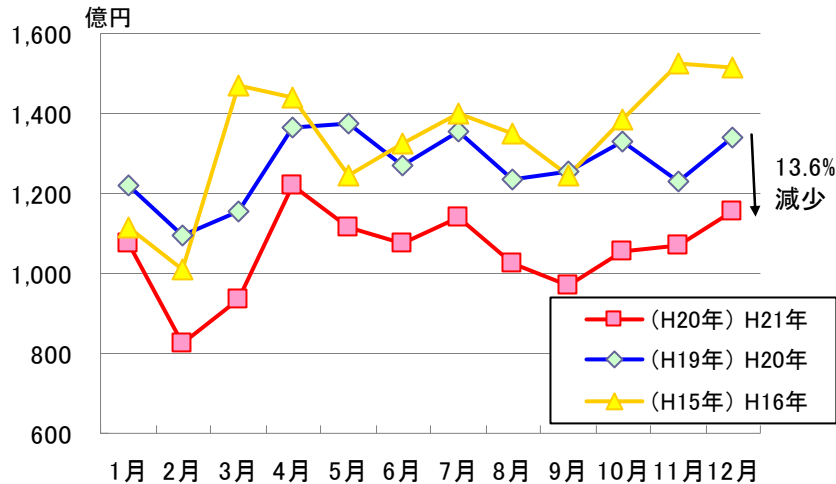
2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

4-② 水産物輸入金額(真珠を除く)の動向

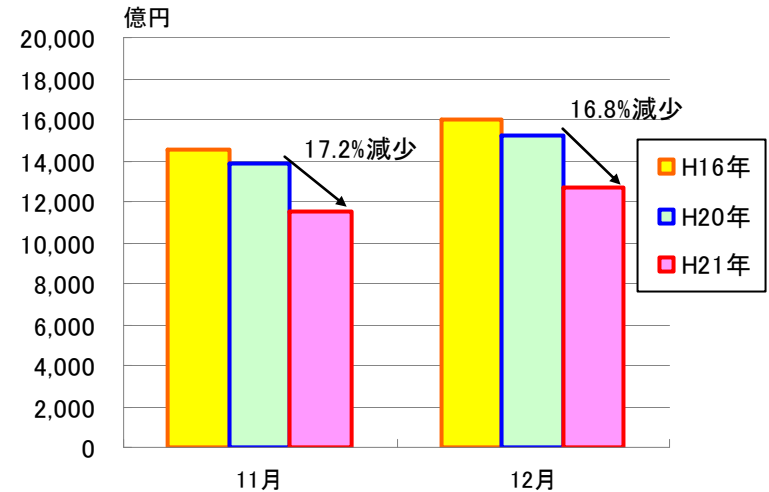
○平成21年12月の水産物輸入金額は1,157億円で、前年同月と比べ13.6%減少した。これは、まぐろ類(12.6%増)、うなぎ調製品(121.3%増)、さけ・ます(4.0%増)等で輸入金額が増加した以上に、かに(51.3%減)、さば(48.6%減)、えび(10.7%減)等の輸入金額が減少したためである。

○平成21年の水産物の累計輸入金額(真珠除く)は12月までで12,658億円で、前年同期と比べ16.8%減少した。品目別にみると、さけ・ます(1.1%増)、さけ科のものの卵(21.2%増)、あさり(17.2%増)等で輸入金額が増加した。一方、国内需要の低迷や円高により、まぐろ類(13.7%減)、えび(13.0%減)、かに(33.1%減)等で輸入金額が減少した。

■水産物輸入金額の推移(単月ベース)



■11月、12月の累計輸入金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21.10	H21.11	H21.12	H21累計
輸入	金額(億円)	15,223	1,074	823	937	1,220	1,115	1,073	1,141	1,023	969	1,056	1,071	1,157	12,658
	前年同月比	-4.1%	-11.8%	-24.7%	-19.0%	-10.6%	-18.9%	-15.5%	-15.8%	-17.2%	-22.7%	-20.7%	-13.0%	-13.6%	-16.8%
	H16年同月比	※-1.0%	-3.7%	-18.6%	-36.3%	-15.2%	-10.5%	-19.0%	-18.4%	-24.2%	-22.1%	-23.8%	-29.9%	-23.6%	-21.0%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注:1)表中の※については、平成15年合計値との比較である。

2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

(参考)品目別の累計輸出入金額

輸出金額(億円)				輸入金額(億円)			
品目	平成21年 1～12月	平成20年 1～12月	前年 同月比	品目	平成21年 1～12月	平成20年 1～12月	前年 同月比
真珠	190.7	320.2	-40.4%	まぐろ類(生・蔵・凍)	1814.5	2102.2	-13.7%
ほたて貝(生・蔵・凍・塩・乾)	142.8	149.1	-4.2%	えび(活・生・蔵・凍)	1719.1	1975.1	-13.0%
さけ・ます(生・蔵・凍)	131.0	102.8	27.5%	さけ・ます(生・蔵・凍)	1331.8	1317.3	1.1%
貝柱(調製)	103.4	81.6	26.7%	えび(調製)	517.0	549.9	-6.0%
乾燥なまこ(調製)	97.3	133.2	-26.9%	かに(活・生・蔵・凍)	465.2	694.9	-33.1%
まぐろ類(生・蔵・凍)	97.1	94.5	2.7%	いか(活・生・蔵・凍もんごう含む)	341.4	399.9	-14.6%
すけとうだら(生・蔵・凍)	94.6	71.3	32.7%	たらの卵(生・蔵・凍)	311.1	533.6	-41.7%
さば(冷蔵・冷凍)	74.9	148.4	-49.5%	真珠	300.7	423.5	-29.0%
魚(生きているもの)	63.7	82.0	-22.4%	生きている魚	299.7	512.1	-41.5%
ぶり(生・蔵・凍)	55.1	38.8	42.1%	たこ(活・生・蔵・凍)	278.1	341.2	-18.5%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

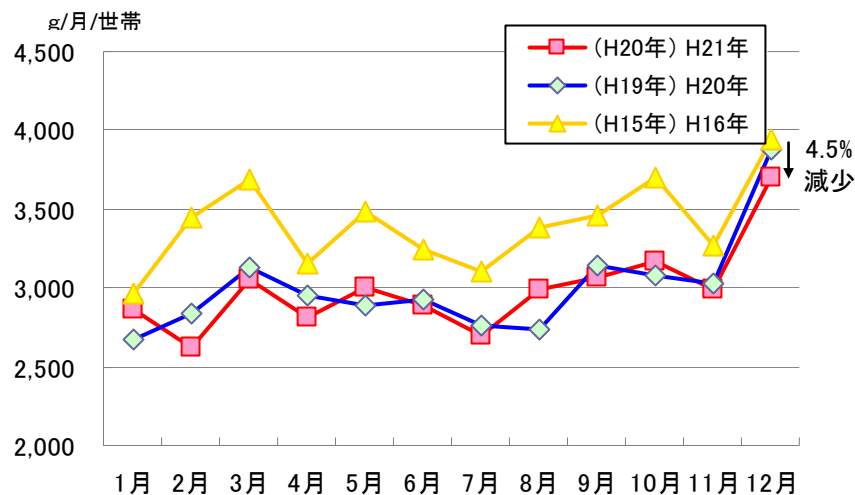
注:1)本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

5-① 生鮮魚介の家計購入数量の動向

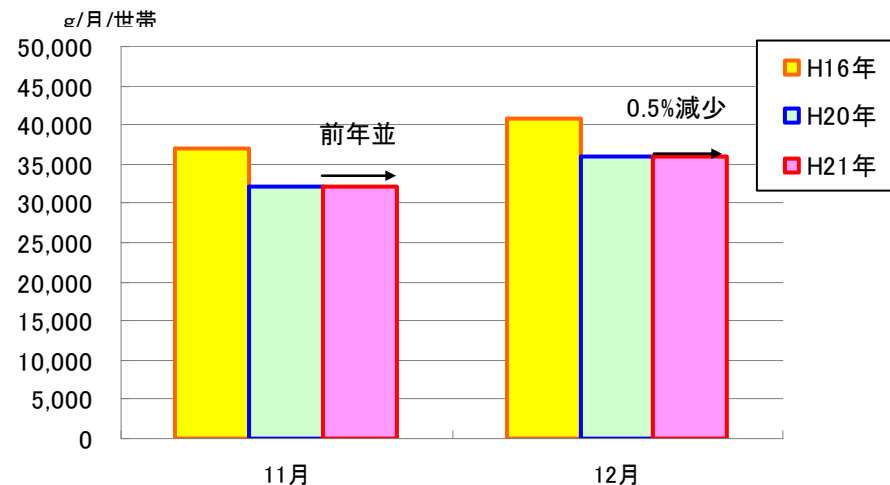
○平成21年12月の生鮮魚介1世帯1月当たりの購入数量は3,700g/月/世帯で、前年同月と比べ4.5%減少した。品目別では、かに(20.4%増)、さけ(8.0%増)、いわし(50.0%増)、たこ(12.5%増)等で購入数量が増加したものの、さしみ盛合わせ(21.8%減)、さんま(31.6%減)、あじ(26.1%減)、ぶり(8.8%減)等では購入数量が減少した。

○平成21年の生鮮魚介1世帯1月当たり購入数量(累計)は12月までで35,855g/月/世帯で、前年同期と比べ0.5%減少した。品目別にみると、さんま(6.4%増)、たこ(20.5%増)、えび(5.5%増)、さけ(2.5%増)等で購入数量が増加した。一方、いか(5.9%減)、さしみ盛合わせ(4.7%減)、あじ(5.8%減)、かつお(5.3%減)等で購入数量が減少した。

■ 生鮮魚介1世帯1月当たり購入数量の推移累計(単月ベース)



■ 11月、12月の生鮮魚介1世帯1月当たり購入数量(累計)の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21.10	H21.11	H21.12	H21累計
生鮮魚介 購入数量	数量(g/月/世帯)	36,031	2,868	2,626	3,056	2,818	2,997	2,887	2,701	2,989	3,064	3,164	2,985	3,700	35,855
	前年同月比	-5.0%	7.2%	-7.6%	-2.5%	-4.3%	3.8%	-1.4%	-2.2%	9.0%	-2.3%	2.9%	-1.5%	-4.5%	-0.5%
	H16同月比	※-14.9%	-3.2%	-23.8%	-17.1%	-10.6%	-14.1%	-11.0%	-13.1%	-11.6%	-11.3%	-14.4%	-8.7%	-6.2%	-12.2%

資料:総務省「家計調査報告」

注: 1) 表中の※については、平成15年合計値との比較である。

2) 本統計は、全国の農林漁家を除く二人以上の8076世帯を対象とするサンプル調査の結果を集計したものである。

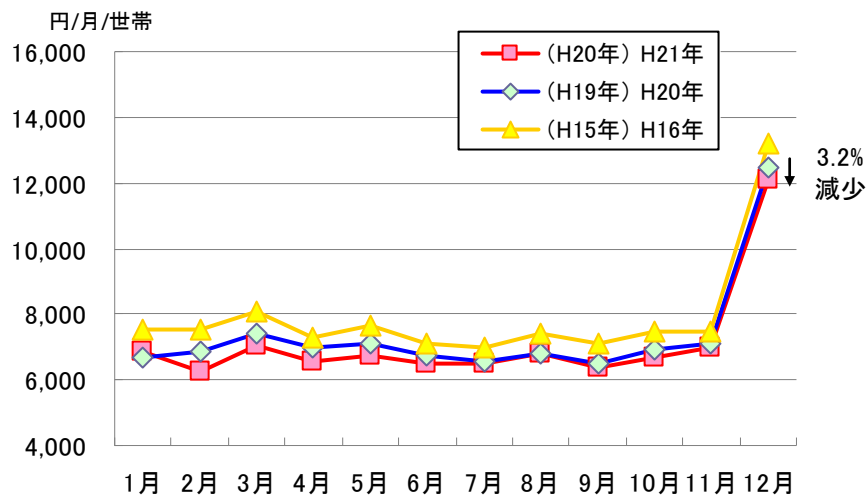
3) 生鮮魚介は、鮮魚16品目、貝類5品目の合計である。

5-② 魚介類の家計消費支出の動向

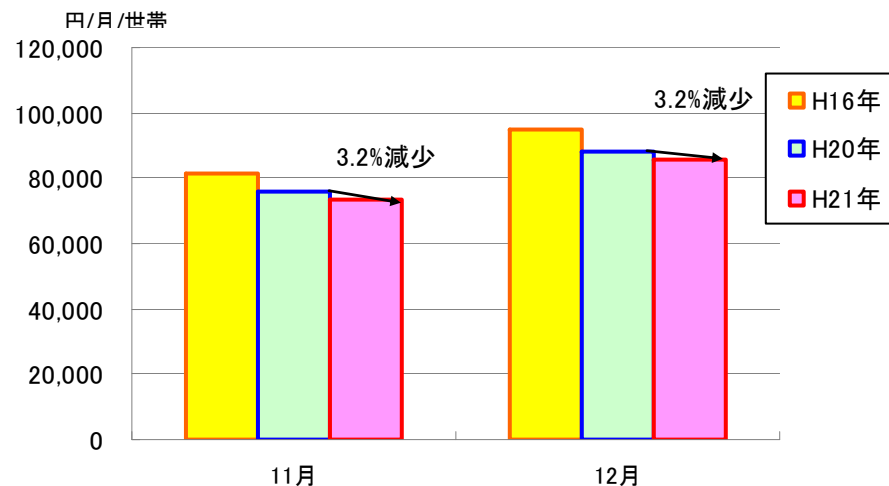
○平成21年12月の魚介類1世帯1月当たりの支出金額は12,087円/月/世帯で、前年同月と比べ3.2%減少した。品目別にみると、生鮮魚介では、かに(12.1%増)、いわし(19.4%増)、あさり(11.8%増)、かき(2.3%増)等で支出金額が増加したものの、ぶり(13.5%減)、まぐろ(9.3%減)、えび(10.0%減)等で支出金額が減少した。生鮮魚介以外では、塩さけ(8.4%増)等で支出金額が増加したものの、揚げかまぼこ(8.1%減)等で支出金額が減少した。

○平成21年の魚介類1世帯1月当たり支出金額(累計)は12月までで85,412円/月/世帯で、前年同期と比べ3.2%減少した。品目別にみると、生鮮魚介では、かに(5.0%増)、たこ(7.0%増)等で支出金額が増加したものの、いか(8.2%減)、ぶり(6.7%減)、あじ(11.0%減)、さしみ盛合わせ(3.2%減)で支出金額が減少した。生鮮魚介以外では、ちくわ(3.3%増)等で支出金額が増加したものの、かまぼこ(4.6%減)等で支出金額が減少した。

■魚介類1世帯1月当たり支出金額の推移(単月ベース)



■11月、12月の魚介類1世帯1月当たり支出金額(累計)の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21.10	H21.11	H21.12	H21累計
魚介類 支出金額	金額(円/月/世帯)	88,211	6,851	6,230	7,039	6,573	6,767	6,515	6,494	6,803	6,377	6,681	6,995	12,087	85,412
	前年同月比	-3.5%	2.3%	-9.6%	-5.0%	-6.0%	-4.9%	-3.7%	-0.9%	0.0%	-2.0%	-3.2%	-1.2%	-3.2%	-3.2%
	H16同月比	※-10.4%	-9.2%	-17.5%	-12.7%	-9.7%	-11.8%	-8.1%	-7.1%	-8.4%	-10.0%	-10.5%	-6.2%	-8.3%	-9.9%

資料:総務省「家計調査報告」

注: 1) 表中の※については、平成15年合計値との比較である。

2) 本統計は、全国の農林漁家を除く二人以上の8076世帯を対象とするサンプル調査の結果を集計したものである。

3) 魚介類は、生鮮魚介21品目、塩干魚介7品目、魚肉練製品4品目および他の魚介加工品5品目の合計である。

(参考)品目別の1世帯当たり購入数量及び支出金額

品目	購入数量				支出金額				品目	支出金額			
	平成21年 12月	対前年 同月比	平成21年 1～12月	対前年 同月比	平成21年 12月	対前年 同月比	平成21年 1～12月	対前年 同月比		平成21年 12月	対前年 同月比	平成21年 1～12月	対前年 同月比
鮮魚	3,273	-3.8%	32,364	-0.7%	5,674	-5.7%	45,339	-3.7%	塩干魚介	2,435	0.2%	15,800	-5.1%
まぐろ	255	-0.8%	2,481	0.7%	680	-9.3%	5,763	-2.3%	塩さけ	389	8.4%	2,130	-1.8%
あじ	82	-26.1%	1,563	-5.8%	78	-21.2%	1,463	-11.0%	たらこ	392	1.6%	2,896	-4.9%
いわし	51	50.0%	757	10.3%	37	19.4%	596	1.4%	しらす干し	105	-5.4%	1,423	-8.3%
かつお	42	10.5%	1,026	-5.3%	61	5.2%	1,575	-7.9%	干しあじ	78	-22.8%	1,094	-6.7%
かれい	97	-2.0%	1,265	-0.6%	121	-14.8%	1,492	-7.8%	干しいわし	29	3.6%	388	-5.8%
さけ	256	8.0%	3,148	2.5%	342	-1.4%	4,134	-1.3%	煮干し	42	-17.6%	393	-15.7%
さば	118	6.3%	1,356	3.2%	101	1.0%	1,138	-1.6%	他の塩干魚介	1,399	0.4%	7,474	-4.5%
さんま	78	-31.6%	2,439	6.4%	43	-36.8%	1,463	0.0%	魚肉練製品	1,692	-0.8%	9,262	-1.1%
たい	77	5.5%	794	8.9%	150	-5.1%	1,316	-5.0%	揚げかまぼこ	274	-8.1%	2,617	-1.6%
ぶり	289	-8.8%	1,969	-2.0%	521	-13.5%	3,159	-6.7%	ちくわ	175	-2.2%	1,842	3.3%
いか	245	-2.4%	2,888	-5.9%	206	-11.6%	2,633	-8.2%	かまぼこ	890	0.2%	3,157	-4.6%
たこ	99	12.5%	836	20.5%	174	-1.1%	1,390	7.0%	他の魚肉練製品	353	3.5%	1,641	1.9%
えび	308	2.7%	2,102	5.5%	573	-10.0%	3,604	-0.6%	他の魚介加工品	1,653	-2.2%	10,350	-0.5%
かに	343	20.4%	834	6.5%	1,038	12.1%	2,154	5.0%	かつお節・削り節	131	7.4%	986	0.0%
他の鮮魚	621	-7.9%	5,924	-4.5%	872	-12.5%	7,996	-6.7%	魚介の漬物	655	-1.8%	3,040	1.0%
さしみ盛合わせ	197	-21.8%	1,980	-4.7%	678	-2.4%	5,461	-3.2%	魚介のつくだ煮	225	-7.4%	1,134	-5.7%
貝類	419	-9.3%	3,479	1.9%	632	-1.9%	4,662	-0.8%	魚介の缶詰	236	-8.9%	2,414	0.8%
あさり	58	20.8%	1,080	-3.2%	57	11.8%	1,040	-4.0%	他の魚介加工品の その他	407	1.8%	2,779	-1.0%
しじみ	21	0.0%	338	7.0%	28	-3.4%	449	3.7%					
かき	169	3.0%	640	2.7%	272	2.3%	1,063	0.9%					
ほたて貝	131	-25.6%	1,031	4.0%	214	-6.1%	1,605	0.6%					
他の貝	33	-40.0%	348	-1.1%	60	-14.3%	502	-7.0%					

資料:総務省「家計調査報告」
(農林漁家世帯を除く2人以上の世帯)

○本資料は、各々の出典に基づいて水産庁漁政部企画課で作成したものであり、本資料中における平成19年及び平成20年合計値は速報値である。

○次回(平成22年1月版)の発行は、平成22年3月中旬の予定であるが、出典の公表時期などにより前後することがある。

お問い合わせ先

水産庁 漁政部 企画課 動向分析班
担当 長尾

電話:03-3502-8111(内線6578)

直通:03-6744-2344